

「学校における教師の働き方改革」

～薩摩川内市立川内南中学校の取組～

薩摩川内市立川内南中学校



川内南中学校の働き方改革のコンセプト（考え方）

- 働き方改革は、働かない改革でもなく、働かせ改革でもない。
「教育方法改善」による働き方改革が本丸であり、
ひいては、教育の質を向上させる。
- アイデアを持ち寄り、チャレンジし、皆がワクワクできる面白い職場、学校を作ろう！
教師が教師でなければできない業務に集中して課題を達成するため、今こそ学校・家庭・地域の連携分担が必要である。
- 教育の概念、学びの在り方、働き方を含めた変革、私たち一人一人に「働き方に関するアップデート」を起こそう！

川内南中学校の取組

■ 働き方改革の考え方

① 「面白い」職場の創造



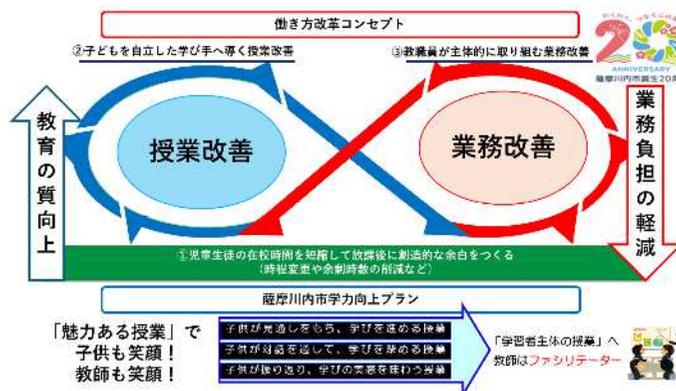
お互いの嬉しかったことや
成果を伝え合い、喜び合える
職場

② 働き方改革推進のための
業務改善



自らの授業を磨くとともに、
その人間性や創造性を高め、
子供たちに対して効果的な
教育活動を行うこと

③ 「教育方法の改善」に
よる働き方改革こそが本丸



業務改善等を通じた 時間外在校等時間の削減

(例) 余剰時数の削減、日課表の見直しなどによる業務改善と教師の働き方の「余白」づくり
(例) 校務DXによる業務効率化や、いわゆる「3分類」に基づく役割分担・適正化 など

教師の健康を守る睡眠の確保や
心理的ストレスの軽減・
子どもと向き合う心身のゆとりの確保

子供

より良い教育の実現

授業改善をはじめとする 教育の質の向上

(例) 自らの授業を磨く、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、
主体的・対話的で深い学びの実現

教師が学ぶ時間や、
子供と向き合う時間の確保

働きがいの向上や
子供主体の学びが実現することで、
さらなる業務改善推進に向けた
動機付けに

働き方改革コンセプト

②子どもを自立した学び手へ導く授業改善

③教職員が主体的に取り組む業務改善



教育の質向上

授業改善

業務改善

業務負担の軽減

①児童生徒の在校時間を短縮して放課後に創造的な余白をつくる
(時程変更や余剰時数の削減など)

薩摩川内市学力向上プラン

「魅力ある授業」で
子供も笑顔！
教師も笑顔！

子供が見通しをもち、学びを進める授業
子供が対話を通して、学びを深める授業
子供が振り返り、学びの実感を味わう授業

「学習者主体の授業」へ
教師はファシリテーター



ワクワクする面白い職場づくり 合い言葉は「WOS」!

W・・・ワクワクする

O・・・面白い

S・・・職場づくり

業務改善の取組について

教員間の分担・協力、地域・保護者等の協力による、余白の創出

- ・ 校長・教頭を含む10人のメンバーでWOS(ワクワクする面白い学校づくりプロジェクト)発足させ、毎週給食時間に「給食会議」を実施し、働き方改革の方針を決め、情報共有、意識合わせを実施
- ・ 「時間予算ワークショップ」で出た意見(80項目のアクション)の実行に向け、推進メンバーで分担し検討
- ・ 教頭が一人で行っていた戸締りを職員で分担(最後に残る職員や土日に出勤する職員に鍵を預ける)
- ・ 教師が担っていた振込など現金を扱う銀行業務は、事務職員が担当し、印刷業務は学校主事が担当
- ・ 教師のみで行っていた下校指導を、地域の方にも協力していただき実施
- ・ 行事の際の駐車場係は、PTAや学校主事の協力で実施
- ・ 校内にコミュニティの場として「川内南中学校美術館」を創設し、その来場者にさつませんだい学校応援団を案内し加入していただくなどの工夫により、学習支援員が増加

ICT活用による業務効率化

- ・ 予定表をデジタル化し、皆の目に付く職員室入口のモニターに映す形に変更
- ・ 出欠確認システム導入により、正確な出欠情報を教師が各自確認可能に
- ・ 全校朝会はICTを活用した放送で実施するなど、効率的な運営を工夫

会議はラウンド制

1 ラウンド 15分

会議の内容によって時間を設定

- 1 ラウンド 15分
- 2 ラウンド 30分
- 3 ラウンド 45分

⇒ 設定時間を守る意識をもつことで、
会議の質を高める。

学校校務支援員・さつませんだい学校応援団・地区コミュニティ協議会の活用



さつませんだい学校応援団による支援の様子

- 学校校務支援員
(1人配置 月15日勤務)
 - 印刷・授業準備補助
 - 配布物の仕分け
 - 掃除・消毒 等

- さつませんだい学校応援団
(学校ボランティア)
 - 授業の見守り 等

- 地区コミュニティ協議会
 - 登下校の見守り 等

地域を巻き込む取組（川内南中学校美術館）

川内南中学校美術館

◆ 鑑賞日・鑑賞時間：平日午前9時から午後4時まで ◆



- 地域の方が、川内南中を訪れるきっかけとなる
- 地域の方に学校の様子を伝える
- 地域の人とつながる

授業改善の取組について

生徒の主体性を引き出し、絆を育む工夫

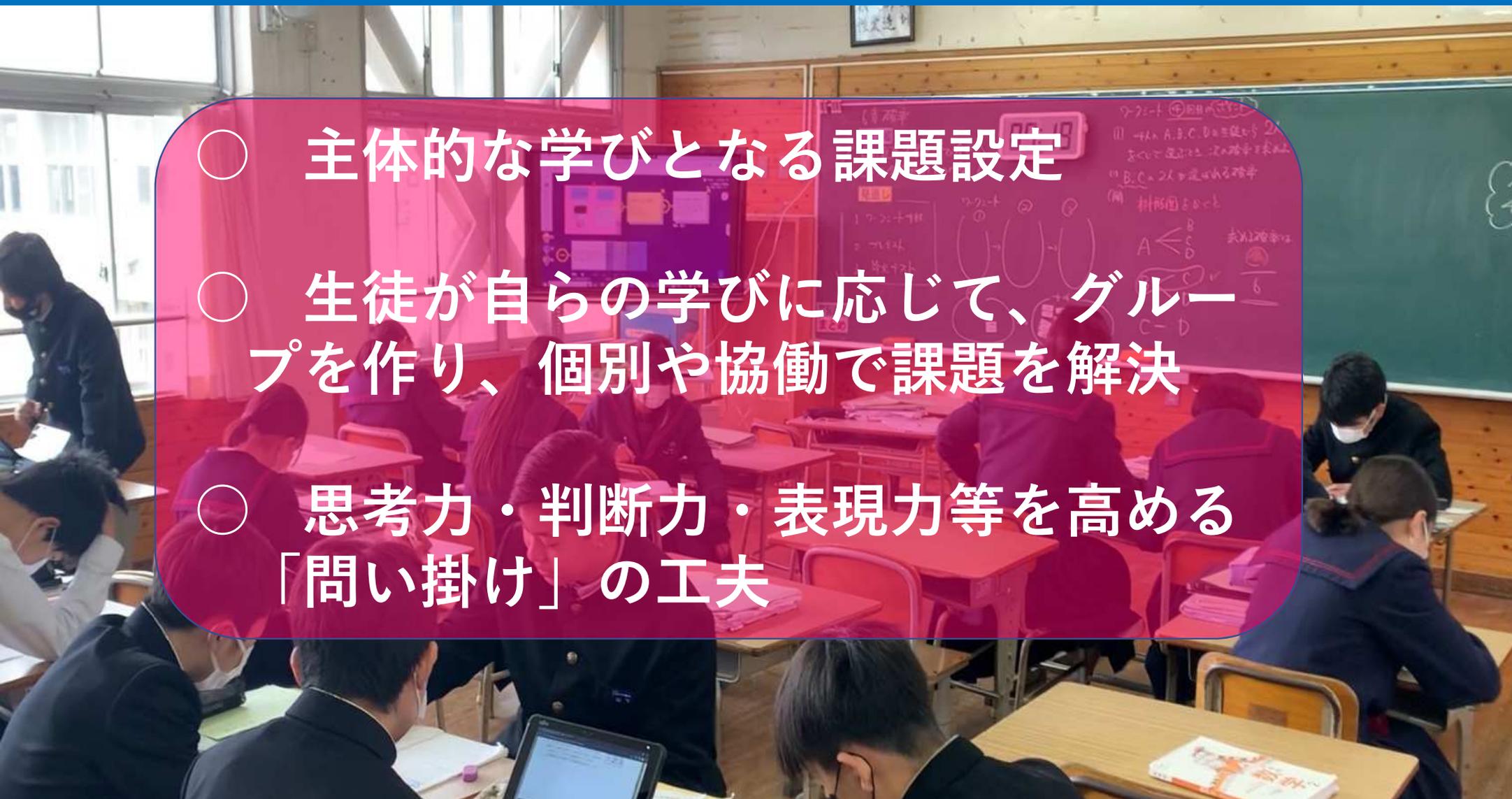
- ・ 自由進度学習や学び合いを導入(英語・数学)
- ・ 掃除を「生徒にゆだねる清掃」への転換。掃除の始まり、終わりに生徒同士でのミーティングを実施するなど、管理型清掃ではなく生徒が主体的に掃除に取り組めるような工夫を実践
- ・ 昼休みに全員で遊ぶ日を設定し、絆づくり・仲間づくりを推進
- ・ 校則規定の見直し

教師間の高め合いによる教育の質の向上への挑戦

- ・ 互いの授業を見学し合う「ちょっと見週間」及び「ちょこっと授業交流推進月間」をスタートし、教師同士が授業を見合う、学び合うの取組を促進
- ・ 各教科の学力向上メソッドを共有
- ・ 自主課題研修の導入(解決したい課題を教師自ら選択し、課題ごとにチームで取り組む)
- ・ 市内全校を対象とする研修会を開催し、サポーターによる「授業改善こそ学校の働き方改革の本丸」の研修を実施

自由進度学習や学び合いの導入について

- 主体的な学びとなる課題設定
- 生徒が自らの学びに応じて、グループを作り、個別や協働で課題を解決
- 思考力・判断力・表現力等高める「問い掛け」の工夫



2年数学「確率」の実践例

2年数学 単元シート「6章 確率」

()組 ()番 名前 ()

この単元の目標

- 「同様に確からしい」ことがらについて、いろいろな「確率」を求めることができる。
- 学んだことを、生活や他の学習に活用する！



☆学習のコツ☆

- ① 「めあて」は自分がギリギリ挑戦できるものを目指す！
- ② 「学び方」を考えて選ぶ！ 【 1人で / 友達と / タブレットの動画を活用 / 先生に聞く / 教科書等で調べる 等 】
- ③ 「できる」まで、とことん学ぶ！ そして、『一人も見捨てない』 ◇人間としても成長する機会◇

☆ヒントコーナー☆

動画(スマートレクチャー)	ロイロノート (共有ノート)	ヒントカード
※ 	6章 確率 (共有ノート) に入ってる ①ヒント動画 ②ヒントカード ③みんなが作ってくれるまとめスライド等	みんなが紙で 作ってくれる ヒントカード

※ 動画は「動画授業一覧 (青色)」→「中学校」→「[数学2年ひとつずつすこしずつのヒントにわかる中2数学](#)」
(似た動画で、「[数学2年新改訂版ひとつずつすこしずつのヒントにわかる中2数学](#)」がありますが、↑上記のものがオススメ。)

教師は、生徒と単元の目標を共有し、学び方を示す。

生徒は、自らの判断で課題を選び、できるまで解決に取り組む。



★必ずやること★ (必須課題)

時	★目標 ○課題	教科書	できた日	教えて!
1	★ 「同様に確からしい」を理解し、簡単な「確率」を求めることができる。 ○ ワークシート1 (両面) → 答え合わせ&解き直しが済んだら先生にサインをもらう。	P180 ~184	/	
2	★ 「樹形図」や「表」を使って、確率を求めることができる。 ○ ワークシート2 (両面) → (上に同じ)	P185 ~186	/	
3	★ 「図」なども使って、いろいろな確率を求めることができる。 ○ ワークシート3 (両面) → (上に同じ)	3は P188 ~189	/	
4	★ レベルの高い確率の問題に挑戦しよう! ○ ワークシート4 (両面) → (上に同じ)	P190 187 193	/	
『単元プレテスト』 ⇒ 丸付けして先生に提出&終わったら教える。 ※ 単元テスト本番で全員8割以上できるように、全員で頑張る!!			/	ワークシート
『単元テスト』本番 「頑張ろう! 応援しています!」			/	1~4

生徒には、単元のゴールが見えるようにする。

QRコードで解決のヒントを示し、生徒は必要に応じて、自ら解決する。



学力向上メソッドの共有について

4月に学力向上推進委員会から提案



教科部会で、学力の課題と対応策を検討



11・12月の教科部会で、中間報告と取組の修正



英語科

「授業が変われば 授業が楽しい」 Team川内南で学力向上

－ 教科の力、学年・学校の力で鹿児島学習定着度調査に挑戦！ －

☆ 現在の課題や昨年度の結果を受けて、これからどのような授業改善や鹿児島学習定着調査に向けた対策を行うか。(対策を始める時期、方法について決めてください。)

	学力の課題	学力向上の手立て (学力向上メソッドI)	各家庭に協力をお願いしたいこと
1年	<ul style="list-style-type: none">・学力の個人差が大きい・単語が正しく書けない・宿題を提出できない生徒がいる・英作文で何を書けば良いか分からない・学び合い等で配慮が必要な生徒も多い	<p>昨年度の手立てに加えて</p> <ul style="list-style-type: none">・CTの継続・学び合い活動を増やす・書く機会を増やす・宿題については、個人に合った方法で取り組ませる(居残り、声かけ、調整など)	<ul style="list-style-type: none">・英語は基本的に毎日宿題があるので、見届けや声かけをお願いします。

2月の教科部会で、鹿児島学習 定着度調査に向けた取組のまとめ



これからの授業改善について、
「協同的な学び」を推進するための方策をまとめ、全体で共有

R4 学力向上メソッドⅠ
知識・技能、基礎学力



R5 学力向上メソッドⅡ
思考力・判断力・表現力等

☆これからの授業改善について（学力向上メソッドⅡ）

→「協同的な学び」を推進するために、どのような【問い掛け】【つなぎ】を行うか。

※問い掛け…・解き方が分かるようになるような「問い掛け」（ヒントカード的な）

・分かっている子には、「ジャンプする問い掛け」→レベルの高い

※つなぎ…・グループやペアの工夫（子どもが自分たちで学びをつなぐ）

・グループと全体とのつなぎ（教師が子どもの学びをつなぐ）

・ICTを使ったつなぎ（子どものお互いの学びをICTを使ってつなぐ）

英語科でできる問いかけ（ヒントカード）

- ・ 英語と日本語は語順が違うため、意味順や並び変えのヒント等をロイロノートに整備し、必要な時にすぐ使えるようにする。
- ・ ジャンプ課題として、早く課題が済んだ生徒には高校入試の過去問で今習っている知識でできる問題をロイロノート上に用意する。（グラフ読み取り、並び変え問題等）
- ・ つなぎについては、意図的な座席配置にすることで学び合いが深まると考えられる。

教師同士が授業を見合う・学び合う取組について

展望	
<p>課題と考えられるパターン</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 多くの中間に合わない ・ 自分のノートに自信がない ・ 失敗した時の周囲からの批判が嫌だ ・ 何で分らないの？ (メンバーに対して) 	<p>課題が発見された授業場面</p> <p>① 授業中に生徒が質問を繰り返す場面</p> <p>② 生徒が自分の考えを発表する場面</p> <p>③ 生徒が自分の考えを発表する場面</p> <p>④ 生徒が自分の考えを発表する場面</p> <p>⑤ 生徒が自分の考えを発表する場面</p>
<p>課題の解決に関して、我々の学びを前進させるための提言</p>	
<p>短期的</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 今何をする時間なのかを教師が明確に指示する ・ スクールメモの活用 	<p>長期的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとりひとりの意見を大切にできよう 授業やクラスの雰囲気作り

IR方式によるグループのまとめ



研究授業・授業研究の様子

職員研修の充実について

① 自主課題研修

1 趣旨

本校職員の一人一人が興味・関心の高い研究内容について、自主的に研究を進め、その後、グループで研究し、更に深めていく。研修を通して、各自の指導力向上に資するとともに、生徒の学力の向上を図る。

2 研修テーマ

学ぶことを愛す、自律した学習者の育成
— 学ぶことは、人生一番最高の贅沢な遊びである —

3 チームの編成(職員が希望する班へ所属できる)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| ア 個別最適な学びチーム | カ ICT活用チームB |
| イ 学び合いの充実チーム | キ 学習サポートチーム |
| ウ 自由進度学習チームA(数学) | ク 家庭学習の充実チーム |
| エ 自由進度学習チームB(英語) | ケ 絆づくり・仲間づくりチーム
～学びのベースづくり～ |
| オ ICT活用チームA | コ 事務職員業務効率化チーム |



4 授業を見合う・学び合う場

- ちょっと見週間
- ちょこっと授業交流推進月間

○ 教科、学年問わず、授業の導入部分のみ、振り返りのみなど、参観したい一部を参観する。また、支援が必要な生徒への支援方法の共有をする。

職員研修の充実について

② 振り返りの充実



10月30日(月)

課題・タイトル	やってみよう!自由進捗学習																
教師	が	自分	の	やっ	た	こと	が	ない	こと	を	やる	の	20				
は	と	て	も	怖	い	けれ	ど	、	や	っ	て	み	ない	こと	には	40	
自分	も	生徒	も	変化	が	ない	。	し	た	が	っ	て	、	一	単	60	
元	々	け	で	も	排	撃	し	て	み	よ	う	と	思	っ	た	。	80

R80 (アールエイティーン) で研修の振り返り

リフレクション (振り返り) とリストラクチャー (再構築) のため、80字で書く。

令和5年度の取組の成果

教師間の密な協力と地域・
保護者等との連携で、**年間の
在校等時間削減**を達成

**生徒に委ねる学び・活動
や教師同士の高め合い等、
教育の質向上に向けて学校
をあげて挑戦**

主な取組実績

- **5月**
・全体研修（キックオフ）参加
- **6月**
・推進メンバー会議のキックオフ
・全体研修参加
- **7月**
・推進メンバー会議（サポーター
オンライン参加）
- **8月**
・サポーター現地訪問&校内研
修実施
- **9月**
・校長会にサポーターオンライン
登壇&現地フォロー&学校訪問
・全体研修参加
- **10月**
・市内全校を対象とするオンライ
ン研修にサポーターを招聘し「時
間予算ワークショップ」開催
- **11月**
・全体研修参加
- **1月**
・全体研修参加
- **3月**
・全体振り返り会参加

令和5年度 鹿児島学習定着度調査の結果から

現3年生

〔1年生の時の結果〕

R4年度	R4国語	R4社会	R4数学	R4理科	R4英語
川内南中	66.7	66.6	69.4	55	68
鹿児島県	70.4	68.4	70.9	63.2	75.7
県との差	-3.7	-1.8	-1.5	-8.2	-7.7



〔2年生の時の結果〕

R5年度	R5国語	R5社会	R5数学	R5理科	R5英語
川内南中	64.1	75.1	70	62.3	71.8
鹿児島県	65.6	62.3	68.8	66.9	71.4
県との差	-1.5	12.8	1.2	-4.6	0.4

5教科ともに、前年度より向上が見られた。

時間外在校等時間の比較から（R5. 4～12月）

各学校における月の時間外在校等時間の差（2023－2022）

● 薩摩川内市立
中学校

川内南中学校

薩摩川内市立中学校

【 グラフの見方 】

貴校

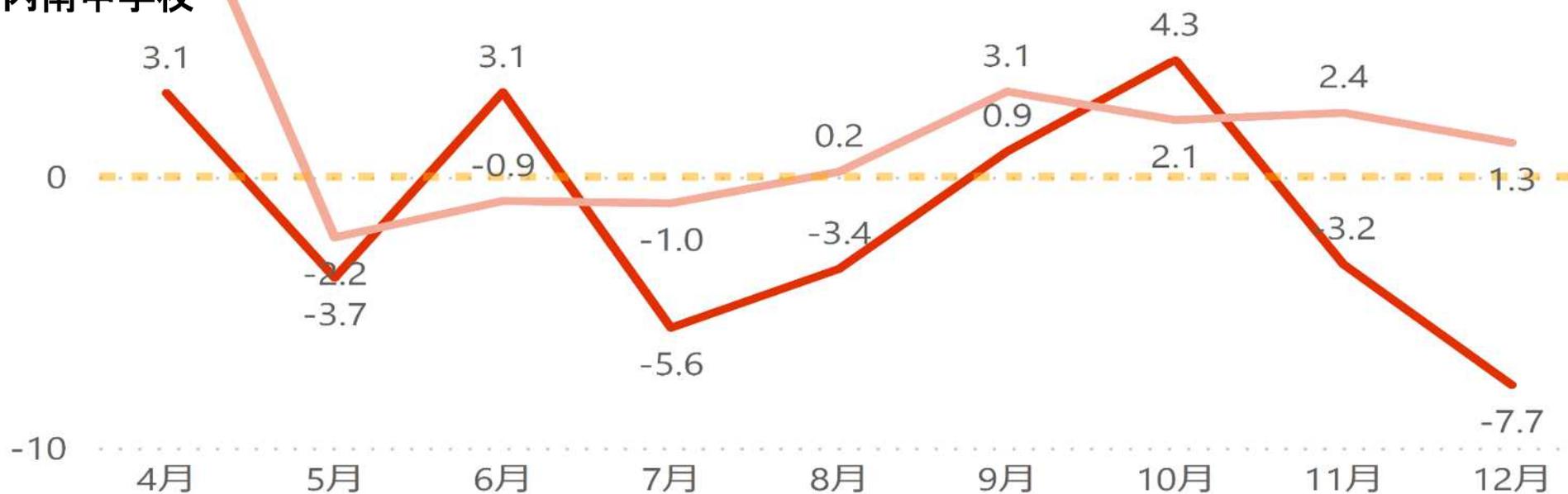
-1.35 時間

市区町村（中学校）

1.90 時間

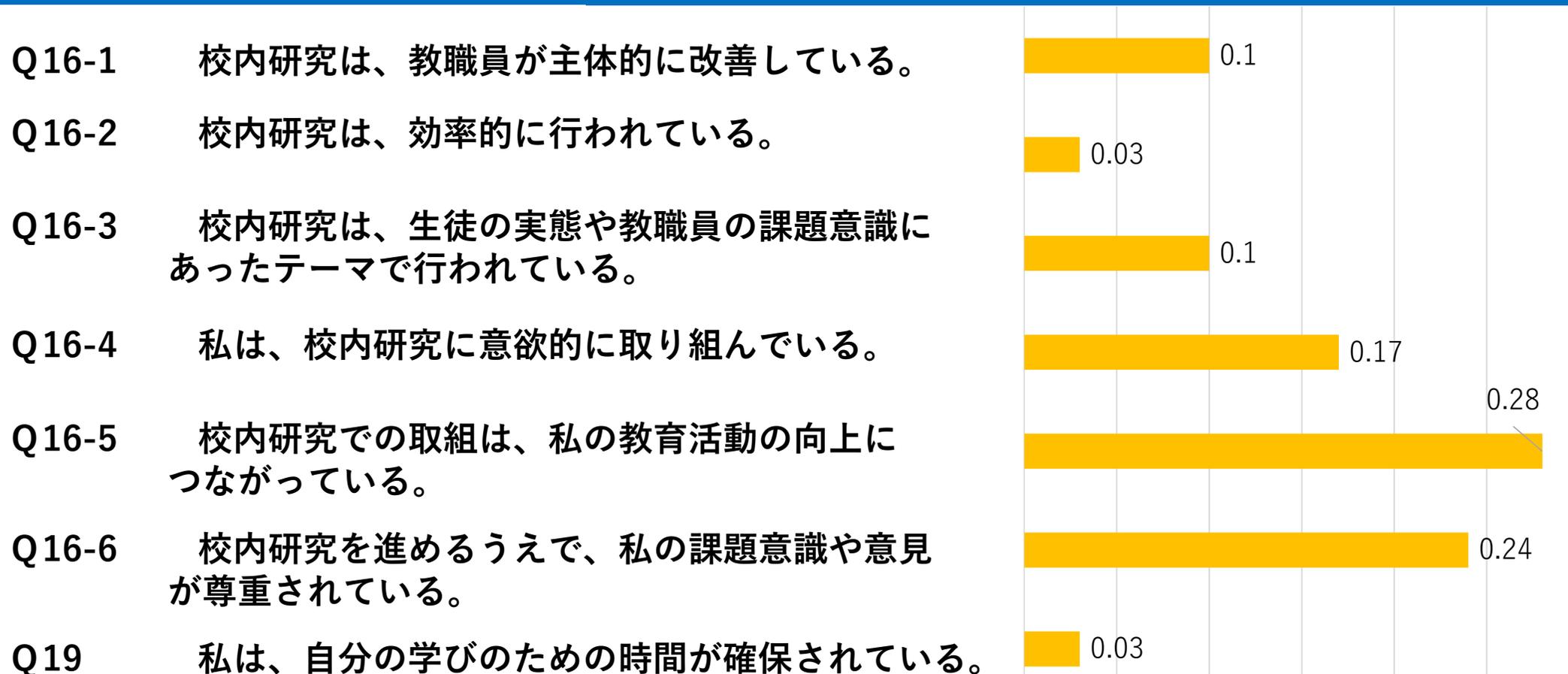
R5.4月 - R4.4月 = 3.1時間
(職員平均) (職員平均)

● 川内南中学校



働き方改革の成果の見える化「成果指標アンケートの実施」

★校内研究・学び (成果指標職員アンケート 5～6段階評価 R5.8月とR6.8月の平均比較)

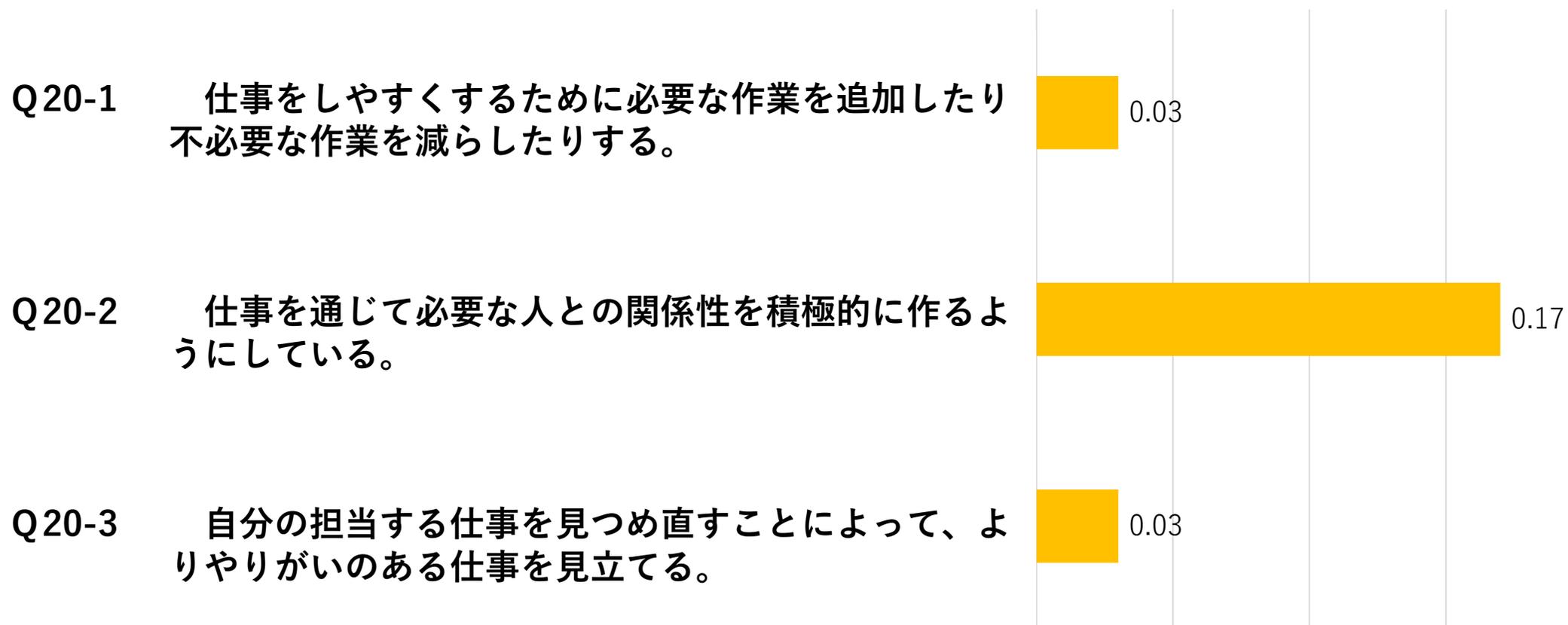


すべての項目で、前年度より向上が見られた。

働き方改革の成果の見える化「成果指標アンケートの実施」

★仕事の仕方

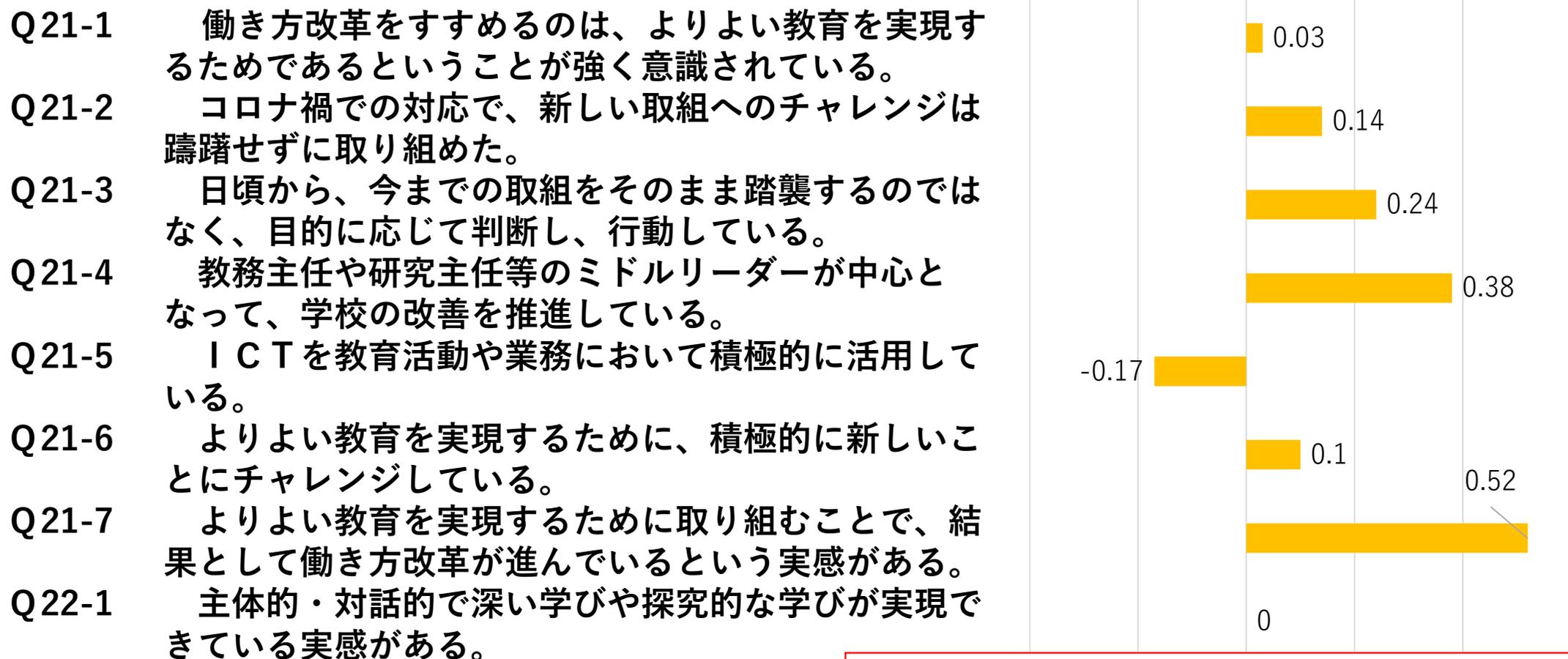
(成果指標職員アンケート 5～6段階評価 R5.8月とR6.8月の平均比較)



すべての項目で、前年度より向上が見られた。

働き方改革の成果の見える化「成果指標アンケートの実施」

★業務改善・授業改善（成果指標職員アンケート 5～6段階評価 R5.8月とR6.8月の平均比較）



8項目中6項目で、前年度より向上が見られた。



キャッチフレーズ

つながる

広がる



魅力あ

薩摩川内市の教育

